

様式 1 1

「川づくり団体」部門

河川基金助成事業

「「あるく、たべる、まなぶ。」
流域つながるプロジェクト」

助成番号： 2023 - 4322 - 001

寝屋川・恩智川流域環境フォーラム
代表 北田 勉

2023 年度

様式 8

1. 川づくり団体部門

[概要版報告書]

助成番号	助成事業名	所属・助成事業者氏名
2023-6322-001	「あるく、たべる、まなぶ。」 流域つながるプロジェクト	寝屋川・恩智川流域環境フォーラム 代表 北田 勉
助 成 事 業 の 要 旨	活動の目的	
	寝屋川・恩智川流域を一体の地域社会ととらえ、関係者が連携して課題解決に向けた情報交換と協働を推進する機関として「寝屋川・恩智川流域環境フォーラム」を平成 28 年 4 月に設立した。本団体の目的は、美しく豊かな水環境を守り育て、川に育まれた地域文化を活かし、流域資源を用いた地域経済を活性化することにある。 <u>今後、具体的な活動を通じ、流域の環境、文化、経済を融合した新たな「川づくり」のあり方を打ち立てる。</u>	
	事業テーマ	これまでに実施したエコツアーの改善に取り組み、 <u>エコツアー企画のプログラム数の増大を図る。</u>
	〔実施内容〕 (1) 定例会議：活動の計画、実行、評価を目的とした定例会議を令和 5 年度は 10 回開催した。議題はモデルツアー、河川清掃、大阪府や大東市主催案件などである。 (2) 恩智川クリーンリバープロジェクト：大阪府や大東市が主催する同プロジェクトは、令和 5 年 11 月 18 日に開催予定で本フォーラムも生物展示やごみ量調査で参加予定であったが、雨天のための中止となった。 (3) 本フォーラム独自の河川清掃：令和 5 年 5 月 14 日に谷田川で河川清掃を実施する予定であったが、雨天のため中止となった。 (4) モデルツアー：現在の大東市域にあった深野池の歴史をめぐる「大東市の川と舟運を夢想する 幻の深野池・三箇城址を歩く」を令和 5 年 6 月 3 日、国史跡に指定された「国史跡・飯盛城跡を歩き、学ぶミニトレッキング」を令和 5 年 12 月 2 日、大阪市内を流れる安治川周辺を探索する「安治川の歴史を学ぶ」を令和 6 年 3 月 14 日に実施した。 (5) Web サイトの更新および動画制作：令和 5 年 3 月に実施した。 (6) のぼり、小旗および帽子の制作：活動中の広報を強化するため令和 5 年 3 月までに制作した。	
	〔成 果〕 令和 5 年度では、予定していた恩智川クリーンリバープロジェクトおよび本フォーラム独自の河川清掃が雨天のため中止となり、河川清掃を実施することができなかった。一方で、 <u>モデルツアーでは、これまで実施してきた飯盛城跡のトレッキングを改善して実施することができ、また、新たに深野池周辺の歴史を学ぶツアーを実施することができた。本フォーラムが主体として活動する寝屋川流域の下流域にある大阪市内の安治川周辺の歴史を学ぶツアーも併せて実施することができた。</u> これらの活動などについて Web サイトを更新し、さらに動画制作をして広く伝えることができたと考えている。また、このような活動中での広報を強化するために、本フォーラムの活動であることがわかるのぼり、小旗、そして帽子を制作し、のぼりについてはモデルツアーに利用した。 <u>これらの活動を計画して実行し、そして評価して改善案を出し合ういわゆる PDCA を行う場が定例会議であるが、これも継続的に実施することができた。</u>	
〔今後の展望〕 河川財団様による新設川づくり団体への助成事業によって、この 6 年間で多くの活動を実施することができた。途中、新型コロナウイルス感染症という予想もしていない事象にも見舞われ、ともに行う活動や、本計画の一つである地元の食材を楽しむといったことが基本的には行うことができなかった。今後も本フォーラムの活動は継続する予定で、恩智川クリーンリバープロジェクト、本フォーラム独自の河川清掃、そしてモデルツアーなどを継続していく予定である。 <u>しかし、資金等の制約があることから、様々な支援を獲得することを検討していきたい。同時に参加者数の増大も広報を通じて実施していきたい。</u>		

※ポイントとなる事項に適宜アンダーラインを引いてください

様式 9

2.川づくり団体部門

[自己評価シート]

助成番号	助成事業名	所属・助成事業者氏名
2023-6322-001	「あるく、たべる、まなぶ。」 流域つながるプロジェクト	寝屋川・恩智川流域環境フォーラム 代表 北田 勉
助 成 事 業 実 施 成 果 の 自 己 評 価	〔計画の妥当性〕 （事業テーマの設定、事業・活動の実施計画、内容、規模等について、当初の計画に対して妥当であったかどうかを記述してください。）：この説明文は、削除して記入してください。以下同じです	
	〔当初目標の達成度〕 （申請書に記載された「目指す成果の形」に照らし、達成された目標、達成されなかった目標と課題、当初目標の設定の妥当性等について記述してください。）	
	〔助成事業の効果〕 （得られた成果を踏まえ、助成事業が、河川整備や地域へのどのように貢献したかなど具体的な効果を記述してください。）	
	〔河川管理者等との連携状況〕 （当該事業の実施にあたり、河川管理者などとの連携状況、効果等について具体的に記述してください。）	
	〔キーワード〕 本活動のキーワードを 3～5 記述してください)	

様式 10-1

2. 川づくり団体部門（新設川づくり団体）

[自己評価シート]

助成番号	助成事業名	所属・助成事業者氏名																																		
2023-6322-001	「あるく、たべる、まなぶ。」 流域つながるプロジェクト	寝屋川・恩智川流域環境フォーラム 代表 北田 勉																																		
助 成 事 業 実 施 成 果 の 自 己 評 価	【計画の妥当性・当初目標の達成度】 令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響がほぼなくなり、本フォーラムの活動への影響はほぼなくなった。しかし、他の団体の交流やモデルツアーの企業等への定着などが進んでいないが、モデルツアーは実施することができた。ただ、雨天のため、予定していた2回の河川清掃を実施することができなかった。 （1）定例会議：100% 活動の計画、実行、評価を目的とした定例会議を令和5年度は10回開催した。 （2）恩智川クリーンリバープロジェクト：0% 雨天のための中止 （3）本フォーラム独自の河川清掃：0% 雨天のため中止 （4）モデルツアー：100% 「大東市の川と舟運を夢想する幻の深野池・三箇城址を歩く」（令和5年6月3日） 「国史跡・飯盛城跡を歩き、学ぶミニトレッキング」（令和5年12月2日） 「安治川の歴史を学ぶ」（令和6年3月14日） （5）Webサイトの更新および動画制作：100% （6）のぼり、小旗および帽子の制作：100%																																			
	【活動の創意工夫点】 活動を継続するにあたっては、活動を担う人材を確保する必要がある。本フォーラムは事務局を担当する大阪産業大学の教員であることから、環境保全活動を担う学生らに協力を得る工夫をしている。																																			
	【助成事業の効果】 地域行政、地域教育機関、そして地域市民との連携を図りながら進めてきたことから、これらを交流が盛んになり、本フォーラム以外でも新たな接点（新しい研究協力、学生らの取り組みへの参加など）ができた。																																			
	【河川管理者等との連携状況】 寝屋川や恩智川を管理する大阪府寝屋川水系改修公営所、八尾土木事務所とは、河川清掃を実施する際、大東市を通じて、または直接連絡をとって河川清掃活動に取り組んでいる。																																			
	【団体の会員数及び予算について】 （団体の会員数の推移、収入予算並びに収入予算に占める当該助成金の割合について記入してください。）																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>採択年度</th> <th>2年目</th> <th>3年目</th> <th>4年目</th> <th>5年目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会員数</td> <td>8（学生除く）</td> <td>9（学生除く）</td> <td>9（学生除く）</td> <td>7（学生除く）</td> <td>7（学生除く）</td> </tr> <tr> <td>予算（単位：千円）</td> <td>508</td> <td>509</td> <td>507</td> <td>505</td> <td>505</td> </tr> <tr> <td>当該助成金</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>割合（％）</td> <td>98%</td> <td>98%</td> <td>99%</td> <td>99%</td> <td>99%</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	採択年度	2年目	3年目	4年目	5年目	会員数	8（学生除く）	9（学生除く）	9（学生除く）	7（学生除く）	7（学生除く）	予算（単位：千円）	508	509	507	505	505	当該助成金	500	500	500	500	500	割合（％）	98%	98%	99%	99%	99%
	区 分	採択年度	2年目	3年目	4年目	5年目																														
	会員数	8（学生除く）	9（学生除く）	9（学生除く）	7（学生除く）	7（学生除く）																														
	予算（単位：千円）	508	509	507	505	505																														
	当該助成金	500	500	500	500	500																														
割合（％）	98%	98%	99%	99%	99%																															
※本年度の予算書が有れば併せて添付してください。																																				
【団体の将来展望】 今後も本フォーラムの活動は継続する予定で、恩智川クリーンリバープロジェクト、本フォーラム独自の河川清掃、そしてモデルツアーなどを継続していく予定である。しかし、資金等の制約があることから、様々な支援を獲得することを検討していきたい。同時に参加者数の増大も広報を通じて実施していきたい。																																				

様式 10-2

2. 川づくり団体部門（新設川づくり団体）

[自己評価シート]

助成番号	助成事業名	所属・助成事業者氏名	
2023-6322-001	「あるく、たべる、まなぶ。」流域つながるプロジェクト	寝屋川・恩智川流域環境フォーラム 代表 北田 勉	
貴団体の活動目的と助成期間終了時のイメージ			
※団体の活動目的とその目標を踏まえ、助成期間終了時には川づくりにおいてどのような役割を果たす団体となっていたいの か、目指す団体の姿を記載してください。			
1 年 目	年間の目標または重点課題		
	① 川づくりのための関連する知識を習得し、小型ボートを賃借して清掃活動を実施する。 ② エコツアーを立ち上げるための調査を実施する。		
	具体的な活動	1年目に得られた成果又は効果	
	達成度及び次年度に向けた改善		
	エクスカーションの実施 Web サイトの充実 ボートによる河川清掃 エコツアーの調査	保津川視察の実施 Facebook による情報発信 恩智川クリーンリバーP の参加 エコツアールートの検討	CSR プログラムへ反映させる。 環境マップを作成する。 引き続き清掃活動を行う。 CSR プログラムプランを作成する。
2 年 目	年間の目標または重点課題		
	① 川づくりのための関連する知識を習得し、小型ボートを賃借して清掃活動を実施する。 ② 試行的なエコツアーを実施する。		
	具体的な活動	2年目に得られた成果又は効果	
	達成度及び次年度に向けた改善		
	エクスカーションの実施 ボートによる河川清掃 川ごみ調査の実施 試行的なエコツアーの実施	木津川視察の実施 恩智川クリーンリバーP の参加 3 回の川ごみ調査の実施 試行的なエコツアーを実施	清掃活動やツアーに反映させる。 引き続き清掃活動を行う。 引き続き川ごみ調査を行う。 時間とルートの再検討
3 年 目	年間の目標または重点課題		
	① 川づくりのための関連する知識を習得し、小型ボートを賃借して清掃活動を実施する。 ② 引き続き試行的なエコツアーを実施する。		
	具体的な活動	3年目に得られた成果又は効果	
	達成度及び次年度に向けた改善		
	エクスカーションの実施 ボートによる河川清掃 川ごみ調査の実施 試行的なエコツアーの実施	寝屋川下流域視察の実施 独自の河川清掃実施 1 回の川ごみ調査の実施 試行的なエコツアーを実施	清掃活動やツアーに反映させる。 引き続き清掃活動を行う。 引き続き川ごみ調査を行う。 外部参加者によるツアーの実施
4 年 目	年間の目標または重点課題		
	① 川づくりのための関連する知識を習得し、小型ボートを賃借して清掃活動を実施する。 ② 引き続き試行的なエコツアーを実施する。		
	具体的な活動	4年目に得られた成果又は効果	
	達成度及び次年度に向けた改善		
	エクスカーションの実施 河川清掃 川ごみ調査の実施 試行的なエコツアーの実施	地下河川見学の実施 独自の河川清掃実施 河川清掃時の川ごみ調査実施 試行的なエコツアーの実施	得た知識をツアーに反映させる。 引き続き河川清掃を行う。 引き続きごみ量調査を行う。 本格的なエコツアーの実施
5 年 目	年間の目標または重点課題		
	① 引き続き河川の清掃活動を実施する。 ② エコツアー（モデルツアー）の改善を図り、ツアー数を増大する。		
	具体的な活動	5年目に得られた成果又は効果	
	達成度及び全体を通じた改善		
	河川清掃 川ごみ調査の実施 エコツアー（モデルツアー）の実施 Web サイトの更新・動画制作	3 箇所のモデルツアーの実施 Web サイトの更新 動画制作	河川清掃の定着 川ごみ調査方法の理解 モデルツアーのバリエーション強化 Web サイト等広報の強化

※初年度に全体の計画を立てて、「助成期間終了時のイメージ」と各年の「目標又は重点課題」

及び「具体的な活動」を記載してください。（過年度採択の場合は、現時点から最終年度までの計画を記載してください）

※毎年、その年度の「得られた成果又は効果」と「達成度及び次年度に向けた反省」を追記してください。

※当初掲げた「目標又は重点課題」「具体的な活動」を見直し、変更した場合は朱書きしてください。

※2年程度は同じ目標、重点課題で活動することも可能です。

※必要に応じて自由に行数を増やしてください

1. はじめに

本助成事業を実施する寝屋川・恩智川流域環境フォーラムは、美しく豊かな水環境を守り育て、川に育まれた地域文化を活かし、流域資源を用いた地域経済を活性化することを目的として、平成 28 年 4 月に設立した。構成する会員は、主に大東市で社会活動を実施しているだいたう森づくりクラブ、大東フレンドフォーラム、大東環境みどり会、野崎参道商店街振興組合、北河内をぐっと盛り上げる会に所属するメンバーの有志を中心に構成しており、さらに大東市に位置する大阪産業大学のエコ推進プロジェクトのメンバーも含まれている。また、事務局を大阪産業大学デザイン工学部環境理工学科の濱崎竜英教授研究室に置いている。

大東森づくりクラブは、森、川、海のつながりの重要性から、大東市の約 1/3 を占める山域の中心的な生駒山系飯森山での整備事業や関連する清掃活動を展開している。大東フレンドフォーラムは、様々な地域社会活動を展開しているが、その内、河川清掃として、寝屋川水域の谷田川の清掃を定期的に行っており、本年より、銭屋川でのビオトープ整備にも取り組んでいる。大東環境みどり会は、大阪産業大学と大東市が平成 20 年より開催しているだいたうシニア環境大学（現、だいたうシニア総合大学環境学部）の卒業生有志で構成し、大東市域での環境保全活動を実施している。具体的には大東市役所脇を流れる川での水質浄化実験や子ども達への環境学習の取り組み、また、後述する恩智川クリーンリバープロジェクトに積極的に参加して清掃活動の中心的組織となっている。さらに野崎参道の商店街組織である野崎参道商店街振興組や健康や歴史に取り組んでいる北河内をぐっと盛り上げる会も参加していただいている。大阪産業大学は、学生が中心となって組織するプロジェクト共育というスキームの中で、大東市の環境美化に取り組むエコ推進プロジェクトが本フォーラムに積極的に関わっている。

このような構成により、5 年間の具体的な活動を通じ、流域の環境、文化、経済を融合した新たな「川づくり」のあり方として、「あるく、たべる、まなぶ。」をキーワードに打ち立てることにした。

2. 活動の内容

2.1 平成 30 年度

2.1.1 定例ミーティング

寝屋川・恩智川流域環境フォーラムは、ほぼ毎月、定例会議を開催し、本フォーラムが取り組む事業の検討、本フォーラム会員が所属する組織の活動計画等の報告等を行っている。平成 30 年度では、次の月日に定例会議を主に大東市の「いいもりぷらざ」で開催した。

表 2.1 定例会議での主な議題

月日	主な議題
4 月 6 日	本助成事業の取り組みについて
5 月 18 日	本事業での購入計画について、大東市長面談報告、恩智川クリーンリバープロジェクト
7 月 11 日	ボート試運転の日程調整、保津川視察の日程調整、恩智川クリーンリバープロジェクト
8 月 10 日	ボート試運転の日程調整、保津川視察の検討、モデルツアー検討
9 月 13 日	ボート試運転の日程調整、保津川視察の日程再調整、恩智川クリーンリバープロジェクト
10 月 19 日	ボート試運転報告、保津川視察の検討、恩智川クリーンリバープロジェクトの検討
11 月 30 日	保津川視察報告、恩智川クリーンリバープロジェクト報告
1 月 18 日	恩智川クリーンリバープロジェクトのワークショップ（1 月 16 日）報告
2 月 22 日	恩智川船着場設置計画報告
3 月 29 日	各団体活動報告および計画



写真 2.1 8 月定例会議



写真 2.2 1 月定例会議

2.1.2 恩智川クリーンリバープロジェクト

大東市が主催し、大阪府が共催する恩智川クリーンリバープロジェクトに毎年参加しており、本年も事前打ち合わせとなるワークショップに第1回（6月28日）、第2回（9月27日）、第3回（10月15日）に参加した。これまでの清掃活動は、恩智川・松ノ鼻橋周辺のみで開催していたが、地域市民への広報効果を考え、ワークショップ参加者から大東市の中心的な駅前となっているJR住道駅前での活動を提案し、これを実現することができた。なお、恩智川クリーンリバープロジェクトでは、11月23日に開催し、本フォーラムとして、本助成事業で購入したサップボード、会員が所有するカヌーでの河川清掃活動、恩智川の写真展示、生物展示、NPO法人全国川ごみネットワークがとりまとめる川ごみ調査を実施した。なお、柏原市の恩智川クリーンリバープロジェクトのワークショップにも参加し、活動の連携を模索している。



写真 2.3 開会式



写真 2.4 本事業で購入したサップボード

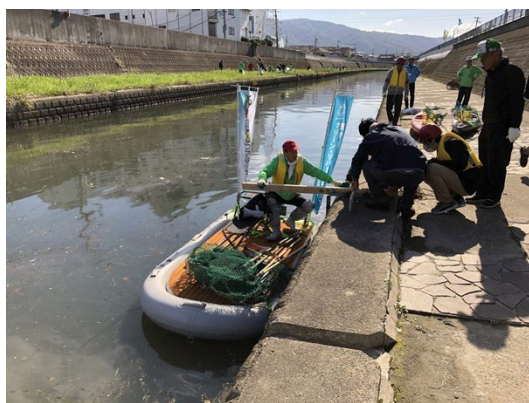


写真 2.5 本事業で購入したサップボード



写真 2.6 恩智川・寝屋川での河川清掃



写真 2.7 恩智川・寝屋川での河川清掃



写真 2.8 JR 住道駅デッキでゴミ回収

2.1.3 保津川視察

先駆的に河川清掃と地域活動を有機的に結びつけている保津川での視察を計画し、実施した。当初は、9月1日の予定であったが、台風や豪雨の影響で延期し、10月21日に実施した。主なスケジュールは以下のとおりである。

表 2.2 保津川視察のスケジュール

時間	内容
10:00～	亀岡市文化資料館見学 ガイド：大阪商業大学・原田先生（NP0 代表）
11:00～	「保津川下りの歴史」 講師：保津川遊船企業組合代表理事・豊田氏
12:00～	昼食
13:00～	保津川下り



写真 2.9 豊田氏の講義



写真 2.10 豊田氏の講義



写真 2.11 保津川前での記念撮影



写真 2.12 台風 21 号での倒木状況

2.1.4 川ごみ調査

NPO 法人全国川ごみネットワークがとりまとめている川ごみ調査を実施した。当調査では、レジ袋、ペットボトル、飲料カップの数量を調査するというもので、本年は大東フレンドフォーラムが主催した谷田川清掃（4 月 29 日）、大東市が主催する恩智川クリーンリバープロジェクト（11 月 23 日）の 2 回実施した。



写真 2.13 谷田川での河川清掃



写真 2.14 谷田川でのごみ調査



写真 2.15 谷田川で回収したごみ



写真 2.16 クリーンリバープロジェクトごみ調査

表 2.3 調査結果

調査月日	4 月 29 日	11 月 23 日
水系・河川名	寝屋川水系・谷田川	寝屋川水系・恩智川
調査範囲 (m)	約 400	約 1000
参加者 (人)	32	約 100
飲料ペットボトル (本)	52	95
レジ袋 (個)	358	70
カップ型飲料容器 (個)	21	10

2.1.5 モデルツアー構築のための調査

平成 30 年度は、4 月 29 日に調査を実施した。このモデルツアーは、河川清掃だけでなく、健康のために「あるく」、地域の食材を「たべる」、地域の環境や歴史を「まなぶ」ためのツアーを企画し、将来的にはこのツアーを定例的に実施することを検討している。今回の調査では、ノルディックウォークによる山地・平地の徒歩を通じ、地域の歴史的な遺産である堂山古墳、野崎観音などをめぐり、体力的な負担、時間などを調査した。



図 2.1 調査ルート

2.1.6 情報発信

平成 30 年度では、Web サイトでのマップ制作を予定していたが、現時点で実施していない。今年度第 4 四半期で実施できない場合は、来年度で実施することにする。一方で、本フォーラムの活動は、本フォーラムの Facebook を用いて、活動を報告している。

2.2 令和元年度

2.2.1 定例会議

寝屋川・恩智川流域環境フォーラムは、ほぼ毎月、定例会議を開催し、本フォーラムが取り組む事業の検討、本フォーラム会員が所属する組織の活動計画等の報告等を行っている。令和元年度では、次の月日に定例会議を主に大東市の「いいもりぷらざ」で開催した。参加者は 5～10 名であった。残念ながら、2 月 28 日および 3 月 24 日の定例会議は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。

表 2.4 定例会議での主な議題

月日	主な議題
5月15日	本助成事業の報告書提出報告、モデルツアー検討、谷田川清掃活動報告
7月3日	モデルツアー検討、木津川視察検討、恩智川クリーンリバープロジェクト活動検討
9月4日	モデルツアー検討、木津川視察検討、恩智川クリーンリバープロジェクト活動検討
10月11日	モデルツアー検討、木津川視察報告、恩智川クリーンリバープロジェクト活動検討
11月22日	モデルツアー検討、恩智川クリーンリバープロジェクト活動報告、独自清掃活動検討
12月20日	モデルツアー報告、本助成事業の中間報告書検討、恩智川流域ごみゼロワークショップ参加報告、独自清掃活動検討
1月24日	モデルツアー報告、本助成事業の中間報告書提出報告、恩智川クリーンリバープロジェクト（柏原）参加報告、独自清掃活動検討（大川周辺）
2月28日	（コロナウイルスの影響で中止）
3月24日	（コロナウイルスの影響で中止）

2.2.2 谷田川河川清掃

本フォーラムの活動に参加している明るい社会づくり運動・大東フレンドフォーラムが主催する谷田川の河川清掃に参加し、NPO 法人全国川ごみネットワークがとりまとめる川ごみ調査を実施した。本活動場所は、JR 野崎駅駅前の河川で寝屋川の支流である。毎年、5月上旬に野崎駅近くの野崎観音において、野崎まつりが開催されることから、例年、野崎まつり開催の前となる4月下旬に実施している。令和元年度は、4月28日に開催した。参加者は30名程度であった。



写真 2.17 谷田川河川清掃の様子



写真 2.18 谷田川河川清掃の様子



写真 2.19 谷田川清掃で収集したごみ



写真 2.20 谷田川河川清掃参加者

2.2.3 木津川視察

平成 30 年度の保津川に引き続き、京都府笠置町の木津川において、カヌー乗船練習と清掃活動を 9 月 7 日に実施した。参加者は 8 名であった。



写真 2.21 カヌー操作指導



写真 2.22 木津川視察参加者

2.2.4 恩智川クリーンリバープロジェクト

大東市が主催し、大阪府が共催する恩智川クリーンリバープロジェクトに毎年参加しており、本年も事前打ち合わせとなるワークショップに第 1 回（5 月 13 日）、第 2 回（9 月 17 日）に参加した。平成 30 年度から実施した JR 住道駅前の活動が好評であったことから、令和元年度も同様に実施することになった。恩智川クリーンリバープロジェクトは、10 月 26 日に開催し、本フォーラムとして、本助成事業で購入したサップボート、会員が所有するカヌーでの河川清掃活動、生物展示、NPO 法人全国川ごみネットワークがとりまとめる川ごみ調査を実施した。参加者はおよそ 100 名であった。

柏原市においても、大阪府が共催した恩智川クリーンリバープロジェクトを実施しており、本フォーラムが協力して川ごみ調査を実施した。また、恩智川流域の市民活動を行って

いる市民団体らが集まって、大阪府が主催した恩智川流域ごみゼロワークショップが柏原市で12月5日に開催され、本フォーラム関係者5名が参加した。



写真 2.23 開会式（大東市長挨拶）



写真 2.24 捕獲した水生生物



写真 2.25 購入したサップボート



写真 2.26 カヌーを改造したボート



写真 2.27 JR 住道駅前でのごみ回収



写真 2.28 川ごみ調査



写真 2. 29 河川清掃活動（柏原市）



写真 2. 30 川ごみ調査（柏原市）

2. 2. 5 川ごみ調査

NPO 法人全国川ごみネットワークがとりまとめている川ごみ調査を実施した。当調査では、レジ袋、ペットボトル、飲料カップの数量を調査するというもので、令和元年度は谷田川清掃（4 月 28 日）、大東市の恩智川クリーンリバープロジェクト（10 月 26 日）、柏原市の恩智川クリーンリバープロジェクト（1 月 22 日）の 3 回実施した。

2. 2. 6 試行的なモデルツアーの実施

「あるく、たべる、まなぶ。」を流域で展開するため、流域を中心に歩き、歴史や文化を学び、地域の食材を食べ、併せて川の環境保全活動につなげることが重要であることから、エコツアーを定着させる試みとして、令和元年度は試行的なモデルツアーを 11 月 24 日に実施した。参加者は 12 名であった。

行程ではノルディックウォークと呼ばれるポールを使い、全身を動かす歩行を取り入れている。行程は次のとおりである。

- 1) 来ぶらり（らいぶらり）四条集合 ツアー説明及び地域紹介（歴史や河内キリシタンについて）
- 2) ノルディックウォーク説明、出発
- 3) 専應寺
- 4) 野崎中川導流堤
- 5) 寶塔神社
- 6) 堂山古墳群史跡
- 7) 野崎観音
- 8) 野崎城址
- 9) 大東市野崎まいり公園、講師による地域食材紹介



写真 2. 31 来ぶらり四条での説明



写真 2. 32 ノルディックウオークの説明



写真 2. 33 専應寺



写真 2. 34 野崎中川導流堤



写真 2. 35 寶塔神社



写真 2. 36 堂山古墳群での参加者撮影



写真 2.37 野崎観音



写真 2.38 食材紹介と反省会



図 2.2 試行的モデルツアーのルート

2.2.7 本フォーラム独自の河川清掃（中止）

本フォーラム独自の河川清掃について、11月の定例ミーティングにて提案があり、その後の定例ミーティングで、3月7日（土）9:00より恩智川および恩智川支川の大川で開催することが決定された。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした。但し、本フォーラムに参加する一部の団体によって実施された。

2.2.8 情報発信

本フォーラムの活動は、本フォーラムの Facebook を用いて活動を報告している。

2.3 令和2年度

2.3.1 定例会議

寝屋川・恩智川流域環境フォーラムは、ほぼ毎月、定例会議を開催し、本フォーラムが取り組む事業の検討、本フォーラム会員が所属する組織の活動計画等の報告等を行っている。しかしながら、新型コロナウイルス感染症罹患患者増加に伴う緊急事態宣言など、人と人との接触が制限されたことから、令和2年4月および5月は開催することができなかった。令和2年度では、次の月日に定例会議を大東市の「いいもりぷらざ」で開催した。ただし、6月26日については、室内を避けるため、大東市浜公園で開催した。参加者は4～10名であった。

表 2.5 定例会議での主な議題

月日	主な議題
6月26日	令和2年度の活動計画
7月31日	モデルツアー検討、恩智川クリーンリバープロジェクト活動検討、本フォーラム独自の河川清掃検討、新規会員獲得方法の検討
8月28日	恩智川クリーンリバープロジェクト中止決定説明、本フォーラム独自の河川清掃検討、新規会員獲得方法の検討
9月25日	恩智川クリーンリバープロジェクト活動検討、本フォーラム独自の河川清掃検討、新規会員獲得方法の検討
10月30日	独自清掃活動（10月31日）検討、寝屋川下流域視察（12月5日）検討
12月4日	独自清掃活動（10月31日）報告、寝屋川下流域視察（12月5日）検討、モデルツアー検討、本助成事業の中間報告書検討
1月8日	寝屋川下流域視察（12月5日）報告、モデルツアー下見（12月24日）報告、モデルツアー検討、動画制作検討、独自清掃検討、本助成事業の中間報告書提出報告
2月12日	モデルツアー検討、動画制作（1月28日1名）報告・検討、独自清掃検討
3月12日	モデルツアー延期検討、動画制作検討、独自清掃検討

2.3.2 恩智川クリーンリバープロジェクト

例年、大東市が主催し、大阪府が共催している恩智川クリーンリバープロジェクトは、新型コロナウイルス感染症により中止となった。

2.3.3 本フォーラム独自の河川清掃

当初は、令和 2 年 3 月頃に開催予定であった本フォーラム独自の河川清掃であったが、新型コロナウイルス感染症により延期となっていた。感染症の状況を鑑みて、令和 2 年 10 月 31 日に開催することになった。場所は、恩智川クリーンリバープロジェクトで対象としている恩智川を中心に寝屋川も含めて開催した。併せて川ごみ調査を行った（後述）。参加者は本フォーラムから 12 名（森づくりクラブ員を含む）と、川ごみ調査を行った大阪産業大学デザイン工学部環境理工学科花嶋温子准教授および学生 8 名であった。この河川清掃では、土嚢袋や軍手の提供、回収したごみの処分など、大東市の協力を得て実施した。

本フォーラム独自の河川清掃を 1 月の定例会議にて提案され、当初、3 月 13 日に実施することにした。しかしながら、降雨のため、3 月 28 日に順延した。ところが、3 月 28 日も降雨となったため、令和 3 年度に延期することを決定した。



写真 2.39 松ノ鼻橋付近での組立作業



写真 2.40 松ノ鼻橋付近での組立作業



写真 2.41 サップポート



写真 2.42 改造カヌーボート

2.3.4 寝屋川下流域視察

寝屋川は、大阪市で大川（旧淀川）と合流しており、大川、堂島川、土佐堀川周辺は、親水空間としてよく整備されている。このようなことから、親水空間が整備されている本フォ

ーラムの主たる活動場所の寝屋川の下流域の視察を令和2年12月5日に開催した。参加者は本フォーラムの4名であった。具体的には JR 大阪城北詰駅より、寝屋川および第二寝屋川の合流点、寝屋川および大川の合流点、大川右岸、堂島川右岸を経て、中之島、土佐堀川右岸から JR 北新地駅までの約 7.5 km を徒歩で視察した。途中、川崎渡し跡碑、将基島粗朶水制跡碑、曾根崎川跡碑も視察した。



写真 2. 43 寝屋川・第二寝屋川合流点付近



写真 2. 44 寝屋川（大坂橋より）



写真 2. 45 大川右岸の将基島粗朶水制跡碑



写真 2. 46 大川分流点（天神橋より）

2. 3. 5 川ごみ調査

NPO 法人全国川ごみネットワークがとりまとめている川ごみ調査を実施した。当調査では、レジ袋、ペットボトル、飲料カップの数量を調査するというもので、本年は本フォーラム独自の河川清掃（10 月 31 日）の 1 回実施した。第 1 班（改造カヌーボート）は恩智川の松ノ鼻橋から寝屋川の大東市役所周辺までの 1.6 km、第 2 班（サップボート）は恩智川の松ノ鼻橋から大東市加納 4 丁目までの 1.1 km、第 3 班（河川敷徒歩）は恩智川の松ノ鼻橋から大東市加納 5 丁目までの 0.5 km であった。2 時間余りの時間で回収したごみの内、飲料ペットボトル、レジ袋およびカップ型飲料容器は下表のとおりである。

表 2.6 川ごみ調査結果（点数）

調査班	飲料ペットボトル	レジ袋	カップ型飲料容器
第 1 班	87	66	6
第 2 班	12	12	2
第 3 班	7	10	1



写真 2.47 川ごみ調査



写真 2.48 回収したごみ

2.3.6 モデルツアーの実施

平成 30 年度と令和元年度は JR 野崎駅より東側周辺でのモデルツアーを試行的に取り組んだが、令和 2 年度では、JR 住道駅（大東市で最も大きな駅）を起点とするモデルツアーを検討することにした。そこで令和 2 年 12 月 24 日に下見を実施した。参加者は 4 名であった。コースは次のように計画している。

このエコツアーを試行的に令和 3 年 3 月 20 日に実施することを、1 月の定例会議で決定したが、準備できず、来年度に延期することになった。

- ①住道駅前アクロス屋上（大東市全域を眺めることができる）
- ②住道駅構内壁画（安土桃山時代頃の大東市付近鳥瞰図）
- ③住道駅デッキ（三箇キリシタンの歴史を記念したライオン像噴水）
- ④寝屋川と恩智川の合流点
- ⑤住吉神社
- ⑥恩智川・住道新橋（可動橋）→河内街道
- ⑦三住町河合家（キリシタン関連）
- ⑧おかげ灯籠
- ⑨寝屋川・住道大橋
- ⑩キリシタン灯籠
- ⑪大東市役所（三好長慶像）



写真 2. 49 JR 住道駅構内壁画



写真 2. 50 住道新橋（可動橋）



写真 2. 51 寝屋川（住道大橋より）



写真 2. 52 三好長慶像（大東市役所）

2. 3. 7 動画制作

モデルツアーと関連し、歴史や環境に関連する動画を制作することを 1 月の定例会議で決定した。これは、本フォーラム構成員の協力を得て、対話形式の動画を制作して、これを公表し、地域の歴史や環境について記録するとともに、学習資料として活用することを目的とした。1 月に 1 名を 3 月にもう 1 名の動画を制作した。

1) 尾崎明幸氏の動画

<https://youtu.be/Y3IHMqtBG4E>



写真 2. 53 尾崎明幸氏 YouTube 動画 最初の画面

2) 大岸清氏の動画

<https://youtu.be/TeWmi9nJPdo>



写真 2.54 大岸清氏 YouTube 動画 最初の画面

2.3.8 その他

1) エコネット近畿主催、水辺活動交流会

令和 2 年 11 月 14 日に開催された水辺活動交流会にオンラインで参加した。参加者は 1 名であった。

2) 2020 年度寝屋川流域ネットワーク懇談会

令和 2 年 11 月 21 日に開催された懇談会にポスターを用いてプレゼンテーション参加した。場所は大阪工業大学の梅田キャンパスで、参加者 1 名であった。

2.4 令和 3 年度および 4 年度

2.4.1 定例会議

寝屋川・恩智川流域環境フォーラムは、ほぼ毎月、定例会議を開催し、本フォーラムが取り組む事業の検討、本フォーラム会員が所属する組織の活動計画等の報告等を行っている。しかしながら、新型コロナウイルス感染症罹患者増加に伴う緊急事態宣言など、人と人との接触が制限されたことから、開催することができなかった時期があった。令和 3-4 年度では、次の月日に定例会議を大東市の「いいもりぷらざ」で開催した。令和 3 年 6 月 23 日は野崎まいり公園、令和 3 年 12 月 17 日はアクティブスクウェア・大東、令和 4 年 12 月 9 日は大東アクロスで開催した。参加者は 5～10 名であった。

表 2.7 定例会議での主な議題

月日	主な議題
令和 3 年度	
6 月 23 日	モデルツアー検討、動画制作検討、本フォーラム独自の河川清掃検討、大阪府環境保全課からの協力要請検討
7 月 21 日	モデルツアー検討、動画制作検討、ボート部品購入検討、本フォーラム独自の河川清掃報告、大阪府環境保全課からの協力要請検討
新型コロナウイルス感染症の影響で中止	
10 月 9 日	河川基金プロジェクト延長の検討、モデルツアー検討、動画制作検討、ボート部品購入検討、大阪府環境保全課からの協力要請検討
11 月 12 日	モデルツアー検討、動画制作検討、大阪府環境保全課主催ワークショップの協力要請検討
12 月 17 日	モデルツアー報告、動画制作検討、本フォーラム独自の河川清掃検討、大阪府環境保全課主催ワークショップの協力要請検討
新型コロナウイルス感染症の影響で中止	
3 月 25 日	モデルツアー検討、動画制作検討、ボート部品購入検討
令和 4 年度	
4 月 22 日	新会長選任、モデルツアー検討、動画制作検討、本フォーラム独自の河川清掃検討
5 月 27 日	モデルツアー検討、動画制作検討、本フォーラム独自の河川清掃検討
7 月 8 日	モデルツアー検討、動画制作検討、地下河川見学検討、恩智川クリーンリバープロジェクト検討、恩智川流域ごみゼロワークショップ検討、本フォーラム独自の河川清掃検討
8 月 5 日	モデルツアー検討、動画制作検討、地下河川見学検討、恩智川クリーンリバープロジェクト検討、本フォーラム独自の河川清掃検討
9 月 2 日	モデルツアー検討、動画制作検討、地下河川見学報告、恩智川クリーンリバープロジェクト検討、本フォーラム独自の河川清掃検討
10 月 7 日	モデルツアー検討、動画制作検討、大東青年会議所主催灯籠流し協力報告、恩智川クリーンリバープロジェクト検討、本フォーラム独自の河川清掃検討
11 月 11 日	モデルツアー下見報告、動画制作検討、恩智川クリーンリバープロジェクト検討、本フォーラム独自の河川清掃報告
12 月 9 日	モデルツアー報告、動画制作検討、恩智川クリーンリバープロジェクト報告、本フォーラム独自の河川清掃報告

1 月 13 日	モデルツアー計画、動画制作進捗確認、中間報告書提出報告、消耗品購入検討
2 月 24 日	モデルツアー計画、動画制作進捗確認、本フォーラム独自の河川清掃計画、中間報告書提出報告、消耗品購入検討
3 月 17 日	モデルツアー計画、動画制作進捗確認、中間報告書提出報告、消耗品購入検討

2.4.2 恩智川クリーンリバープロジェクト

例年、大東市が主催し、大阪府が共催している恩智川クリーンリバープロジェクトは、令和3年度は令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症により中止となった。

令和4年11月12日、3年ぶりに開催された。これまで恩智川周辺で開催していたが、令和4年度では、JR住道駅南側の末広公園で開催された。新たな試みとして、芸能人を呼び、ゲーム感覚のごみ回収が行われた。本フォーラムは、事前に恩智川の生物を捕獲し、生物展示を行なった。



写真 2.55 開会式



写真 2.56 本フォーラムの生物展示

2.4.3 本フォーラム独自の河川清掃

令和3年7月17日、谷田川松野園橋付近において、河川清掃を実施した。この河川清掃においては、大阪府環境保全課が準備したごみ調査シートをもとに清掃活動を行なった。調査では大阪府環境保全課の協力が得られた。



写真 2.57 河川清掃



写真 2.58 回収したごみ

定期的な河川清掃を実施する予定であったが、令和4年3月12日は新型コロナウイルス感染症、令和4年4月29日は降雨により中止となった。

令和4年10月15日、谷田川松野園橋付近において、河川清掃を実施した。NPO法人全国川ごみネットワークがとりまとめている川ごみ調査を実施した。



写真 2.59 河川清掃



写真 2.60 回収したごみ

2.4.4 モデルツアー

住道駅周辺の河川状況とキリシタンの歴史に触れる新しいモデルツアーを検討し、令和2年12月24日に実施した。新型コロナウイルス感染症の影響で試行的なモデルツアーを実施することができなかったが、令和3年12月11日に実施することができた。次のような行程であった。参加者は14名で、内大東市からの参加は7名であった。

- ①住道駅集合（アクロスで説明）
- ②住道駅構内壁画（安土桃山時代頃の大東市付近鳥瞰図）

- ③住道駅デッキ（三箇キリシタンの歴史を記念したライオン像噴水）
- ④寝屋川と恩智川の合流点
- ⑤住吉神社
- ⑥恩智川・住道新橋（可動橋）→河内街道
- ⑦三住町河合家（キリシタン関連）
- ⑧おかげ灯籠
- ⑨寝屋川・住道大橋
- ⑩キリシタン灯籠
- ⑪大東市役所（三好長慶像と屋上からの見学）



写真 2.61 住道駅デッキ上での説明

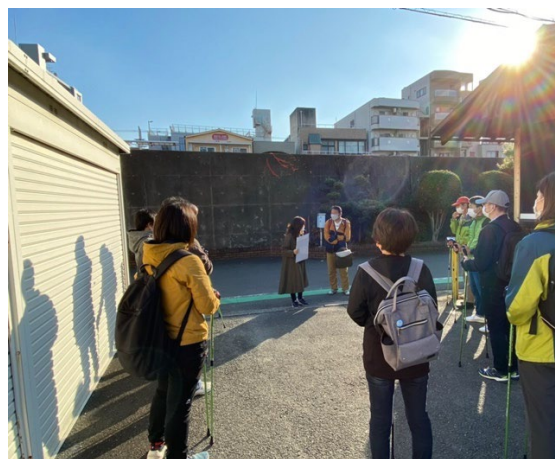


写真 2.62 住道新橋の説明

新たなエコツアーとして、国史跡に指定された飯盛城跡をめぐるツアーを検討し、令和4年10月18日に下見を実施した。主な行程は次のとおりである。

- ①住道駅
- ②タクシーで大東市野外活動センター（キャンピーだいとう）
- ③飯盛城跡
- ④徒歩で下山
- ⑤四条畷駅



写真 2. 63 キャンピーだいとう

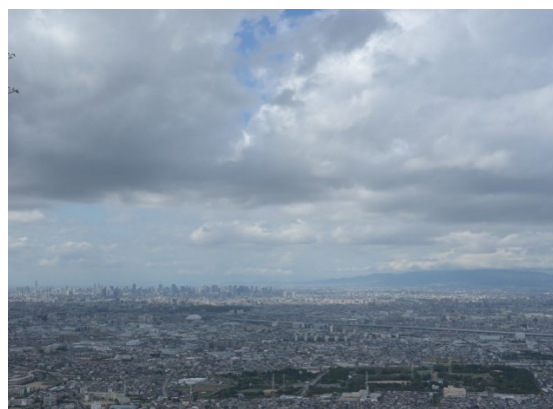


写真 2. 64 飯盛城頂上付近より

10 月 18 日の下見をもとに、コースを再検討して、試行的に 12 月 3 日に実施した。今回は、動画撮影とともに、大東市で飯盛城跡の発掘に携わる李氏に同行していただいた。行程は次のとおりである。

- ①住道駅集合
- ②住道駅歴史銅板見学
- ③飯盛城外観および河川の位置関係を確認
- ④末広公園よりマイクロバスで大東市野外活動センター（キャンピーだいとう）
- ⑤キャンピーだいとうで説明
- ⑥飯盛城跡見学
- ⑦キャンピーだいとうへ
- ⑧マイクロバスで住道駅へ



写真 2. 65 大東市・李氏（左端）の説明

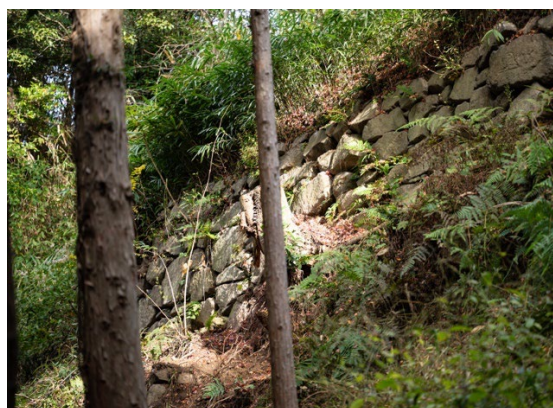


写真 2. 66 飯盛城の石垣

2. 4. 5 地下河川見学

大東市は昭和 40 年代に大きな水害に見舞われたことから、大東市も含め、大阪府全体で洪水対策が行われてきた。その一つが地下河川整備である。このようなことから地下河川を

見学し、洪水対策の現状や大阪府の取り組みを学ぶ見学会を令和4年8月30日に大阪府寝屋川水系改修工営所の協力を得て、東大阪市若江立坑で開催した。



写真 2.67 改修工営所の説明

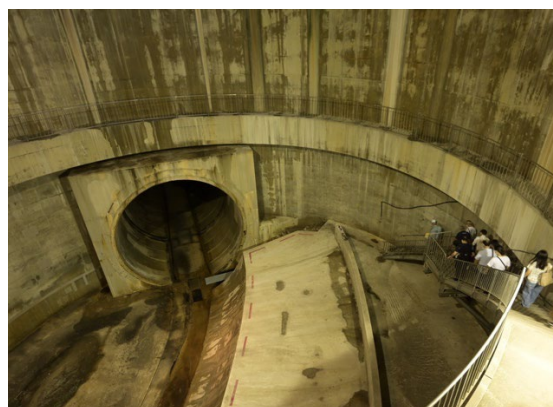


写真 2.68 若江立坑

2.4.6 大阪府からの協力依頼

令和3年度より大阪府環境保全課から、ワークショップやごみ量調査の協力要請があり、本フォーラムで検討して進めてきた。しかしながら、新型コロナウイルスの影響により、令和4年3月に大阪産業大学で開催予定であったワークショップ、令和4年8月10日に大阪府八尾土木事務所で開催予定であった恩智川流域ごみゼロワークショップが中止となった。

2.4.7 大東青年会議所からの協力依頼

大東市の若手経営者らが運営する大東青年会議所から、同会議所が令和4年10月2日に住道駅前周辺で主催する恩智川での灯籠流しの協力要請があり、ボートの貸し出しを行った。

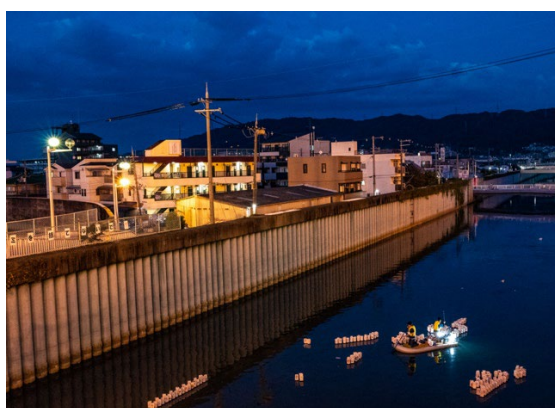


写真 2.69 恩智川での灯籠流し



写真 2.70 恩智川での灯籠流し

2.4.8 Web サイトの更新および動画制作

同フォーラムの活動をより広く周知するため、以前より Web サイトを構築し、新しい情報をアップしてきたが、今回、改めて今年度の活動について情報をアップするとともに、試行的に実施した飯盛城跡をめぐるツアーについて、令和 5 年度への活動につなげる動画制作を行なった。

フォーラムの Top ページ

<https://onji-forum.net/>

動画を設定したページ

<https://onji-forum.net/?p=1333>

2.4.9 ロゴの制作

Web サイトと同様に、同フォーラムの活動をより広く周知するため、フォーラムのロゴの制作を行った。令和 5 年度以降、このロゴを河川基金のロゴとともに、Web サイト、のぼり、資料、パンフレットなどに用いる予定である。



寝屋川・恩智川流域環境フォーラム

Neyagawa-Onjigawa River Basin Environmental Forum

図 2.3 制作したロゴ

2.5 令和5年度

2.5.1 定例会議

活動の計画、実行、評価を目的とした定例会議を令和5年度は10回開催した。主な議題は以下のとおりである。

表 2.8 定例会議での主な議題

月日	主な議題
4月21日	モデルツアー検討、成果報告書について、令和3年度および令和4年度の支出について、本フォーラム独自の河川清掃（谷田川）スケジュール検討
5月26日	モデルツアー（深野池）スケジュール検討、エクスカーショントラック検討、本フォーラム独自の河川清掃検討、本フォーラム独自の河川清掃（谷田川）中止報告
6月30日	モデルツアー（深野池）実施報告、必要物品の検討、モデルツアー検討、恩智川クリーンリバープロジェクト活動検討
7月28日	モデルツアースケジュール（飯盛城）検討、必要物品の検討、本フォーラム独自の河川清掃検討、恩智川クリーンリバープロジェクト活動検討
8月25日	モデルツアースケジュール（飯盛城および安治川）検討、必要物品の検討、本フォーラム独自の河川清掃検討、恩智川クリーンリバープロジェクト活動検討
9月22日	モデルツアースケジュール（飯盛城および安治川）検討、必要物品の検討、本フォーラム独自の河川清掃検討、恩智川クリーンリバープロジェクト活動検討
10月27日	モデルツアースケジュール（飯盛城および安治川）検討、動画制作依頼、必要物品の検討、恩智川クリーンリバープロジェクト活動内容決定
12月15日	モデルツアースケジュール（飯盛城）報告、必要物品の検討、恩智川クリーンリバープロジェクト中止報告、モデルツアースケジュール（安治川）検討
1月26日	モデルツアースケジュール（安治川）検討、動画内容検討、必要物品の検討
3月8日	モデルツアースケジュール（安治川）検討、必要物品の検討、Webサイト更新依頼

2.5.2 恩智川クリーンリバープロジェクト

大阪府や大東市が主催する同プロジェクトは、令和5年5月11日18日に開催予定で本フォーラムも生物展示やごみ量調査で参加予定であったが、雨天のため中止となった。

2.5.3 本フォーラム独自の河川清掃

令和5年5月14日に谷田川で河川清掃およびごみ量調査を実施する予定であったが、雨天のため中止となった。

2.5.4 モデルツアー

現在の大東市域にあった深野池の歴史をめぐる「大東市の川と舟運を夢想する幻の深野池・三箇城址を歩く」を令和5年6月3日に実施した。

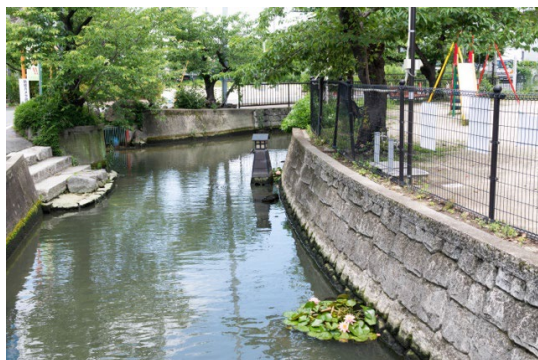


写真 2.71 御領せせらぎ水路



写真 2.72 寝屋川



オーラム
 メール：info@onji-forum.net
 〒574-8530 大阪府大東市中垣内 3-1-1
 大阪産業大学デザイン工学部環境理工学科
 濱崎 竜英 研究室（16 号館 4 階 16402 室）



図 2.4 モデルツアー（深野池）のちらし

国史跡に指定された飯盛城跡をノルディックウォークでめぐる「国史跡・飯盛城跡を歩き、学ぶミニトレッキング」を令和 5 年 12 月 2 日に実施した。



写真 2.73 大東市・李氏による説明



写真 2.74 飯盛城の石垣



図 2.5 モデルツアー（飯盛城）のちらし

大阪市内を流れる安治川周辺を探索する「安治川の歴史を学ぶ」を令和 6 年 3 月 14 日に実施した。スケジュールは以下のとおりである。

JR 桜島駅集合→天保山渡船桜島乗り場（桜島側）→天保山渡船桜島乗り場（天保山側）→天保山（安治川浚渫によってできた築山）→大阪メトロ大阪港駅→大阪メトロ弁天町駅→弁天東公園（安治川改修の築山（波除山）跡）→安治川水門（アーチ型）→河村瑞賢紀功碑（安治川改修を指揮した人）→安治川トンネル→JR 西九条駅



写真 2. 75 天保山渡船場



写真 2. 76 波除山跡

2. 5. 5Web サイトの更新および動画制作

令和 5 年 3 月に実施した。Web サイト（ホームページ）の URL は以下のとおりである。同サイトには本フォーラムの活動目的や活動内容を報告するとともに、制作した動画を掲載している。

<https://onji-forum.net/>

2. 5. 6 のぼり、小旗および帽子の制作

活動中の広報を強化するため令和 5 年 3 月までに制作した。

3. 活動の成果

3.1 平成 30 年度

今年度の目標の内、川づくりの知識習得として、10 月 21 日に保津川視察を実施し、本助成事業を推進する情報を獲得した。また、小型ボートを購入し、11 月 23 日に恩智川クリーンリバープロジェクトに参加し、河川清掃、川ごみ調査等を実施し、市民への啓発活動を行った。また、CSR プログラムとしてのエコツアーを実施するため、4 月 29 日に流域周辺の調査を実施した。しかし、当初予定していた Web サイトへの環境マップ制作は実施しておらず、今後、進めていく予定である。なお、Facebook を通じて、情報発信に努めた。

3.2 令和元年度

1 月までに予定していた活動を全て達成することができ、また、恩智川流域で活動する他の市民団体との交流も行うことができたが、2 月と 3 月はコロナの影響で定例ミーティングや本フォーラム独自の清掃活動を中止した。川ごみ調査を継続的に実施していることから、他の市民団体への説明も行った。試行的なモデルツアーでは、時間や活動範囲などについて課題はあるものの、十分な情報を関係者で共有することができ、来年度に向けて取り組むことができる知識を得ることができた。

3.3 令和 2 年度

昨年度となる令和 2 年 2 月から今年度の令和 2 年 6 月中旬までは、コロナウィルス感染症の影響で活動がほとんどできなかったが、それ以降は、感染症対策を行った上で、河川清掃、川ごみ調査、視察、モデルツアーなどを実施することができた。また、本フォーラムに賛同する市民を募るための広報の検討や、他団体が主催する会合についても積極的に参加した。コロナによる制限が多いものの、一定の成果を得ることができた。

3.4 令和 3 年度・令和 4 年度

令和 2 年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な活動が中止や延期となった。このような中でも定例会議で河川清掃、モデルツアー、他主催の様々な活動の方向性を決定して進めることができた。河川清掃においてはごみ量調査を行って対外的に発信している。また、モデルツアーでは新たなツアーを 2 種立てることができた。

3.5 令和 5 年度

令和 5 年度では、予定していた恩智川クリーンリバープロジェクトおよび本フォーラム独自の河川清掃が雨天のため中止となり、河川清掃を実施することができなかった。一方で、モデルツアーでは、これまで実施してきた飯盛城跡のトレッキングを改善して実施することができ、また、新たに深野池周辺の歴史を学ぶツアーを実施することができた。本フォーラムが主体として活動する寝屋川流域の下流域にある大阪市内の安治川周辺の歴史を学ぶ

ツアーも併せて実施することができた。これらの活動などについて Web サイトを更新し、さらに動画制作をして広く伝えることができたと考えている。また、このような活動中での広報を強化するために、本フォーラムの活動であることがわかるのぼり、小旗、そして帽子を制作し、のぼりについてはモデルツアーに利用した。

これらの活動を計画して実行し、そして評価して改善案を出し合ういわゆる PDCA を行う場が定例会議であるが、これも継続的に実施することができた。

4. 今後の展望

河川清掃では、谷田川の河川清掃を中心に今後も定例的に実施していく。モデルツアーでは今年度、試行的に実施した飯盛城跡のツアーを実施し、ポールを用いたノルディックウォークによる健康増進「あるく」、地域の歴史を学ぶ取り組み「まなぶ」を含めた流域全体の活動を進めていく予定である。ただし、「たべる」は新型コロナウイルス感染症により、当初予定していた地域の食材を用いた料理を食すということは困難な状況となった。

様式 1 2

3.川づくり団体部門

[実施箇所位置図]

助成番号		助成事業名	所属・助成事業者氏名
2023-6322-001		「あるく、たべる、まなぶ。」流域つながるプロジェクト	寝屋川・恩智川流域環境フォーラム・北田 勉
	主な実施箇所	恩智川 松ノ鼻橋～住道駅周辺、谷田川 野崎駅周辺 200m 程度	
助成事業の主な実施箇所			
河川基金ロゴ等表示状況写真	遠景	近景	
			